

ワークショップ だよ！

Vol.6

南部圏域地域ブランド創造ワークショップ in 海陽

□ とき 平成23年3月1日(火) 19:00~21:00

□ ところ 宍喰町民センター 2階 大広間

- ◎ 南部圏域(阿南市・那賀町・美波町・牟岐町・海陽町)の地域ブランドの創造に向けて、地域の方たち自身で考え作り上げていく“南部圏域地域ブランド創造ワークショップ”を開催しています。
- ◎ このお便りは、“南部圏域地域ブランド創造ワークショップ”での話し合いの様子をお届けするものです。

ステップ1

はじめに

調査によると、徳島県は郷土への愛着度は高いが、自慢度が低いという結果でした。

ワークショップ開催の目的や、外から見た県南地域のイメージなどについて県から説明を行いました。
また、緊張をほぐすため、簡単な体操とゲームを行いました。



ステップ2

地域の強み・弱みについて考えよう

2グループに分かれ、終始和やかな雰囲気の中で、海陽町の地域の強いところ・弱いところについて意見を出し合いました。
地元ならではの、いろいろな意見が出てきました。



さあ～、みんな
簡単なゲームをしよう
＼(^▽^)/



● ワークショップ参加者の皆さんが思うこの地域の…

強いところ!!

- ・何でもある(山・川・海) ・コンパクトにまとまっている
- ・気候がよい(雪がふらない、寒暖が味わえる)
- ・海辺が近い ・災害に強い ・漁場が近い
- ・高知へは遠いが道が走りやすい
- ・魚介類が新鮮で美味しい
(アワビ、トコブシ、ブリ、伊勢エビ、アオリイカ、グレ…etc)
- ・朝とれた魚がスーパーならば

- ・人柄がよい ・気心が知れている
- ・縦横の年代の繋がりがあがる
- ・妥協しない気質 ・盛り上がる気質
- ・性格がおっとりしている

新鮮な魚介類を外の人達も気軽に買える場所があればな～
(^ ~ ^) ウーム…

- ・豊かな自然と戯れられる
- ・サーフスポットが豊富(海部河口、宍喰…etc)
 - ・初心者でもサーフィンしやすい
 - ・サーフィンはお金がかからない
 - ・サーフィン留学の人がいる
- ・釣りのスポットが豊富 ・釣りの穴場が多い
- ・寒茶の茶摘み・製造体験
- ・夏に遊ぶところがたくさんある
- ・町民一体のフルマラソン

- ・寒茶、宍喰祇園祭、「ヤオハオ」能、母川、ホテルなどの地域資源、伝統文化

- ・子育てを育てるのに最高の環境
- ・学校と保護者の結びつきが強い

- ・リゾート感がある(宍喰地区)

弱いところお～…

- ・交通の便がわるい ・車がないと生活できない
- ・医療への不安がある(設備の整った病院が遠い…etc)

- ・気軽に立ち寄れる土産物屋が少ない
- ・飲食店が少ない
- ・ものが高い
- ・冬場の観光の場(遊ぶところ)がない
- ・新鮮な食材の販売場所がない
- ・雇用の場がない

- ・阿南・薬王寺までは来てくれるのに…
- ・町を素通りされている

- ・魚介類が美味しいのに…PR下手
- ・のんびりすぎる
- ・干渉すぎる ・閉鎖的
- ・町内の人には味にうるさい
- ・後継者がいない

- ・素材はあるのに活かさきれていない

- ・サーファーとの接点が少ない
- ・年配の人は、サーファーのイメージが悪い
- ・サーファーのマナーが悪い(ごみを捨てる)
- ・海に来てくれる人は、お金を落とさない

- ・ターナー者への支援が少ない

サーファーをロコミに利用
ができれば、外へのPRが
できるかも…
(~ ~) 。

ステップ3

海陽町の地域のイメージを提案しよう

グループで出された地域の強みや弱みをもとに、海陽町の地域のイメージのもととなるキーワードなどを探りだし、各グループごとに、地域のイメージを提案しました。



各グループから提案された海陽町の地域のイメージ

チーム

さかなや

- ・ぬくい
- ・気安く行ける田舎
- ・サーフィンのまち
- ・野球のまち
- ・星降るまち
- ・光のまち
- ・秘境穴場
- ・人も気候もあたたかい

チーム

みとこぼし

- ・サーファーにお金を使ってもらえるまち
- ・人がよすぎる
- ・星空の見えるまち
- ・明るい
- ・朗らか
- ・冬もあたたかい

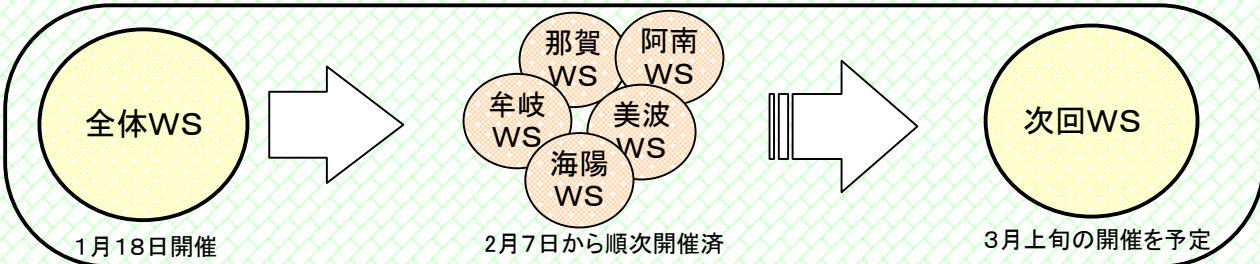
「海」にまつわるイメージ提案が多かったですね
＼(°~°)

ステップ4

今後の予定

今回で、県南1市4町での、ワークショップが終了しました。各市町での提案内容を材料として、再度全体ワークショップを開催し、県南地域のイメージを固め、地域ブランドの方向性やPR方法などについて検討していきます。

各グループの提案に対して、講評してもらいました。



Q: 「地域ブランド」ってなんじゃ?

「地域ブランド」についての明確な定義はありません。和田充夫ほか著「地域ブランドマネジメント」(有斐閣)では、一つの試みとして、『その地域が独自に持つ歴史や文化、自然、産業、生活、人のコミュニティといった地域資産を、体験の「場」を通じて、精神的な価値へと結びつけることで、「買いたい」「訪れたい」「交流したい」「住みたい」を誘発するまち』と定義づけています。

地域ブランドの創造は、一つの特産品を作ることではありません。地域独自の資産を活用して、生産・販売・観光・交流・移住を有機的に結びつけ、地域全体を活性化させるところに、その創造意義があります。

ファンの心を驚かすには何か、どういふ“提供のしかた”が必要なのか、みんなで一緒に考えていきましょう。

お問い合わせ

南部圏域地域ブランド創造ワークショップについてのお問い合わせは、こちらまで。

徳島県南部総合県民局<美波>

企画振興部 県南振興担当

電話:0884-74-7356(担当:浦西)

